

報道機関各位

2007年6月21日

ユニバーサルデザイン、バリアフリーのトイレマップをボランティアによって作成する『Check A Toilet Project ユニバーサルデザイントイレマップ』を開始します。

(ボランティア団体) Check A Toilet Project

代表 金子健二

みんながつくる、みんなのためのトイレマップ

『Check A Toilet Project ユニバーサルデザイントイレマップ』

< <http://www.checkatoilet.com/> >

だれでも気兼ねなく生活ができる世の中へ……

日常生活に欠かせない、誰しものが利用するものってなんだろう？

それは「トイレ」。

自分が使いやすければ、ほかの人も使いやすい、

自分が使いにくければ、ほかの人も使いにくい。

そんな情報を、みんなで共有できたら役に立つと思いませんか？

小さなお子様連れのお母さん、車椅子の人、お年寄りの人も。

外出先のトイレを地図上で共有するサイト、

『Check A Toilet Project ユニバーサルデザイントイレマップ』をスタートします。

ボランティア団体「Check A Toilet Project」（活動拠点：東京都 代表:金子健二）は、6月21日から、利用者みんなの手でトイレマップを作り、管理していくインターネットプロジェクト『Check A Toilet Project ユニバーサルデザイントイレマップ』をスタートいたします。

バリアフリーマップ（トイレマップ）や防災マップは、それぞれの地域の有志によって10年ほど前から作られておりますが、情報が統一されていない、印刷物で更新されないなどの問題点が多く、またユーザーがいざ使うとなると、情報が古い、どこで入手できるのか分からないなど、「本当に知りたい情報を得る」ことが難しくなっております。

私たち「Check A Toilet Project」は、そのような状況を少しでも変えられないかという想いのもと、スタートしました。

まず「Check A Toilet Project」の公式サイト (<http://www.checkatoilet.com/>) では個人の方、地域で活動するグループ・団体の方々、そして私たちサイト運営者が協力し、トイレマップの作成・管理にあたります。

個人の方は「個人ユーザー」として、地域の図書館やよく行くレストラン、旅行先などのトイレ情報を自由にマップに書き込むことができ、地域で活動する「グループ・団体」の方々には、専用の権限「地域管理者ユーザー」をもつていただき、「地域のトイレ情報」の管理を委任します。

また、印刷物のトイレマップがある、既に地域の情報を把握しているグループ・団体の方々にもご協力を仰ぎます。既に蓄積された情報を生かしていただきつつ、「Check A Toilet Project」を利用することで簡単にトイレマップを作ることができ、またインターネットで随時更新・公開ができるため、経費削減と地域の情報周知に効果があります。さらに、地域・観光事業の活性化、地域の広告・宣伝として、地域のトイレ情報を含めたユニバーサルデザインの観光ルートマップ・日帰り散策プランを作成することで、サイトから地域の情報発信が効率的に行えます。

今後は、トイレにまつわる特集や地域コミュニティーの展開、ボランティアを推進する活動などを行い、NPO 法人化をする予定です。

「Check A Toilet Project ユニバーサルデザイントイレマップ」

< <http://www.checkatoilet.com/> >

現在は少人数で活動しておりますが、今後にご期待下さい。

【会社概要】

- ボランティア団体名 Check A Toilet Project
- 代表者 代表 金子 健二
- 事業体 任意ボランティア団体
- 設 立 2006年9月1日
- 所在地 東京都
- URL <http://www.checkatoilet.com/>

■事業内容

ユニバーサルデザイン トイレマップのサイト運営（全国統一した情報のトイレマップ制作）

【本件に関するお問い合わせ】

■ボランティア団体名 Check A Toilet Project

■担当者 金子 健二

■Email info@checkatoilet.com